

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 66

24.10.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



小千谷市学校給食センター

平成12年4月から市内4中学校（南中学校を除く）に、給食を開始しました。衛生的な環境と充実した設備で、清潔・安全・おいしい給食を、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく調理し、現在、約1,200食（37学級）を配送しています。

中越大震災では、機械設備に大きな被害を受けましたが、1か月後の11月22日から完全給食が再開され、この日のメニュー「カレー」が生徒に大変喜ばれたと、伺いました。

所在地 小千谷市大字千谷甲1787番地3
竣工 平成12年2月
厨房方式 ドライシステム
対応食数 約1,400食（40学級）／日

— 主な掲載内容 —

- 第3回定例会議決結果 … P 2
- 常任委員会報告 …… P 3～4
- 一般質問 …………… P 5～8
- 議会日誌 …………… P 8
- 雪あかり、編集後記 …… P 8

平成24年小千谷市議会
第3回 定例会
議決結果

8月31日から9月24日まで開
 会し、次のとおり議決いたしま
 した。

条例の改正・廃止

- 小千谷市火災予防条例の一部
改正 (全会一致)
- 小千谷市防災会議条例の一部
改正 (全会一致)
- 小千谷市災害対策本部条例の
一部改正 (全会一致)
- 小千谷市障害者支援センター
ひかり工房条例の廃止
(起立多数)

平成24年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第
3号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会
計補正予算(第1号)
(全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計補
正予算(第1号)
(全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計補正予
算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計補正予

- 算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計
補正予算(第1号) (全会一
致)
- 小千谷市下水道事業会計補正
予算(第1号) (全会一致)

平成23年度決算の認定

- 小千谷市一般会計歳入歳出決
算認定 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会
計歳入歳出決算認定
(起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計歳
入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市後期高齢者医療特別
会計歳入歳出決算認定
(起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会
計歳入歳出決算認定
(全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計決算認
定 (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計の利益
の処分及び決算認定
(全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計
の利益の処分及び決算認定
(全会一致)
- 小千谷市下水道事業会計の利
益の処分及び決算認定
(全会一致)

その他

- 新潟県後期高齢者医療広域連
合規約の変更 (全会一致)
- 契約の締結(衛生センター清
流園基幹的設備改良工事)
(全会一致)
- 財産の取得(ロータリ除雪車)
(全会一致)
- 財産の処分(ひかり工房建物)
(起立多数)
- 財産の処分(旧さくら保育園
建物) (起立多数)
- 財産の無償貸付(ひかり工房
土地) (起立多数)
- 財産の無償貸付(旧さくら保
育園土地) (起立多数)
- 小千谷市教育委員会委員の任
命 (全員賛成)
- 小千谷市教育委員会委員の任
命 (全員賛成)

請願

- 学校図書館の蔵書整備・充実
に関する請願 (採択)
- 「私立高校生が学費を心配せ
ず学べるように、私学助成の
増額・拡充を求める意見書」
の採択に関する請願 (採択)
- 「教育費無償化」の前進をも
とめる請願 (不採択)

発議

- 「ゆきとどいた教育」の前進
をもとめる請願 (不採択)
- 市内小・中学校の学校図書館
の蔵書整備・充実の継続的な
実施を求める意見書
(全会一致)

- 私立高校生が学費を心配せず
学べるように、私学助成の増
額・拡充を求める意見書
(全会一致)



市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

- 11月30日(金) 第1日 議案上程説明
- 12月3日(月)~12月5日(水) 各常任委員会で審査
- 12月13日(木) 第2日 一般質問
- 12月14日(金) 第3日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 12月18日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴に
 ついては議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。
 また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。
 URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案17件のうち15件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案とおりの可決及び認定すべきものと決し、請願4件については、2件は採択すべきものとし、2件は採択しないものと決しました。

○議案第56号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、総務省令の改正に伴い、新たに急速充電設備を設置する際の基準を規定するため条例を改正するものです。

○議案第57号 小千谷市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の所掌事務の見直しと明確化を図り、組織する委員の範囲を拡大するため条例を改正するものです。

○議案第58号 小千谷市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、災害対策基本法の改正に伴い、引用する同法の条項を改正するものです。

○議案第60号 平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

本案は、歳入歳出それぞれ1億6480万円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ174億2069万2千円としたいとするものです。

○議案第63号 平成24年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について

本案は、事務業務用機械器具借上の債務負担行為の設定をするものです。

○議案第64号 平成24年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、事務業務用機械器具借上の債務負担行為の設定及び汚泥収集運搬処分業務委託料の補正です。

○議案第65号 平成24年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、事務業務用機械器具借上の債務負担行為の設定及び汚泥収集運搬処分業務委託料の補正です。

○議案第66号 平成24年度小千

谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、事務業務用機械器具借上の債務負担行為の設定をするものです。

○議案第67号 平成23年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

平成23年度歳入決算額は、186億8028万5145円、歳出決算額は181億3507

万3847円で差し引き5億4521万1298円となっておりますが、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は4億9777万4298円が黒字となりました。

○議案第72号 平成23年度小千谷市ガス事業会計決算認定について

業務実績は、前年度に比べ供給戸数は25件増の1万580件、供給量は7・8%増の1814万610立方メートルとなり、経営成績では、803万6千円の当年度純損失となりました。

○議案第73号 平成23年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ供給戸数は50件増の1万3774件、有収水量は1・1%減の4

40万1362立方メートル、給水収益は0・8%減の6億809万4千円となり、有収率は、0・5ポイント低下し、92・3%となりました。経営成績では、1億4689万5千円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減積積立金に4100万円、建設改良積立金に1億円を積立てるものです。

○議案第74号 平成23年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ給水量は2万6342立方メートル増の267万7332立方メートルとなり、経営成績では、5313万円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減積積立金に5100万円を積立てるものです。

○議案第75号 平成23年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

水洗便所設置済人口は3万3036人で、水洗化率は89・7%となり、有収水量は361万9169立方メートルで、有収率は93・1%となりました。経営成績では、1億3201万9千円の当年度純利益となりました。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット生中継でご覧いただけます。

本会議当日の生中継のほか、録画中継もご覧いただけます。

(録画中継は本会議開催日のおよそ5日後から、翌定例会の初日の前日まで)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に6700万円を積立てるものです。

○議案第79号 財産の処分について
本案は、ひかり工場の建物を社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会に無償譲渡したいとするものです。

○議案第80号 財産の処分について
本案は、旧さくら保育園の建物を社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会に無償譲渡したいとするものです。

○議案第81号 財産の無償貸付について
本案は、ひかり工場の土地の一部を社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会に無償貸付したいとするものです。

○議案第82号 財産の無償貸付について
本案は、旧さくら保育園の土地の一部を社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会に無償貸付したいとするものです。

○請願第4号 学校図書館の蔵書整備・充実に関する請願について
本請願は、採択するものと決しました。

○請願第5号 「私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願について
本請願は、採択するものと決しました。

○請願第6号 「教育費無償化」の前進をもとめる請願について
本請願は、採択しないものと決しました。

○請願第7号 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願について
本請願は、採択しないものと決しました。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案7件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第59号 小千谷市障害者支援センターひかり工房条例を廃止する条例の制定について
本案は、小千谷市障害者支援センターひかり工場の事業主体を民営化に移行することに伴い、条例を廃止するものです。

○議案第61号 平成24年度小千

谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
本案は、平成23年度の医療費に係る保険給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ4596万9千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ39億3694万8千円とするものです。

○議案第62号 平成24年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
本案は、平成23年度の介護給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ2686万5千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ35億9304万1千円とするものです。

○議案第68号 平成23年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、39億7559万6511円、歳出決算額38億3990万2786円で、歳入歳出差引残額1億3569万3725円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第69号 平成23年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、34億1535

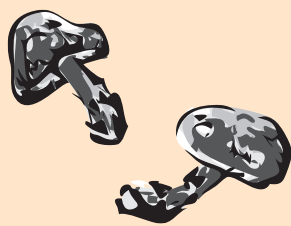
万695円、歳出決算額33億848万4331円で、歳入歳出差引残額2686万6364円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第70号 平成23年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、6億8820万7424円、歳出決算額6億8196万3324円で、歳入歳出差引残額624万4100円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第71号 平成23年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、1125万6790円、歳出決算額1104万5988円で、歳入歳出差引残額21万802円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第71号 平成23年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、1125万6790円、歳出決算額1104万5988円で、歳入歳出差引残額21万802円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第71号 平成23年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額は、1125万6790円、歳出決算額1104万5988円で、歳入歳出差引残額21万802円を翌年度へ繰越すというものです。



会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

(平成24年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



市政の内容を聞く 一般質問

いじめ問題関係について

山本 道男 議員

児童・生徒が、いじめの無い楽しい学校生活を送れるよう教育長に質問する。

質問 ①いじめについてのアンケートは、長くても1か月1回程度実施すべきと考えるが、当市の状況と教育長の見解を問う。
②アンケートの開封は、担任以外の教師が実施し、検討は学年全体で行うべきと考えるが。
③加害者への対応は、厳しい方が良いと思うが、出席停止処分と併せて教育長の見解を問う。

④昼休みや放課後に、保護者や地区役員等の協力を得て、校内巡視を実施したかどうか。
⑤いじめられている子供のため駆け込み寺的場所として、校長室等の確保が必要と考えるが。

⑥いじめ撲滅教育の一環として遺書等を教材に活用できないか。
答弁 ①アンケートを毎月実施している学校は6校、学期ごと実施が14校となっております。今後の状況で回数等は検討したい。

②いじめの兆候を察知した際は関係者が集まり速やかに教育相談や詳細状況の把握に努めているが、子供と教師の信頼関係づくりが大切であると考える。
③いじめは絶対に許さない姿勢で臨み、心から謝罪するような指導が大切であり、じっくりと丁寧な指導を進めていく必要があると考える。

④基本的には教員が校内巡視を実施しているが、状況により、保護者やボランティア等の協力も検討すべきと考える。
⑤学校で対応は異なる。個々の状況に適した対応を行っている。
⑥いじめ絶滅集会等は実施しているが、今後、遺書等を授業や集会に資料として取り上げるよう、各学校に強く働きかけてい

きたい。

一級河川茶郷川改修について

阿部 正行 議員

一級河川茶郷川は源を西吉谷地区に発し西小千谷地区を流れる大変重要な川である。この川の改修について伺いたい。

質問 ①洪水対策のための田んぼダムの効用と消流雪施設の活用について
②護岸対策について
③農林第一放水路以降の流末処理計画について

答弁 茶郷川の改修については抜本的な改修とあわせ、田んぼダムの活用や既設放水路の改善や遊水地の設置など河川整備計画の策定前に進める必要がある。
①田んぼダムは雨水を一時的に貯留し徐々に流すことにより洪水危険度を軽減する働きがあり1時間当たり100ミリのよう

な猛烈の雨の時には85%抑制される。消流雪施設の活用については、国、県とその可能性を検討していきたい。
②今年7月4日に地元、県、建設課の三者で千谷川有明橋から城内天田川合流点まで現地視察、

懇談会を開き、質疑応答を通して河川整備計画が決まらない限り改修もできないなど現状が再認識された。これにより年内に沿川町内会をはじめ関係者からなる仮称茶郷川治水協議会を組織し、県の計画案の合意計画の推進、また、田んぼダムや第一、第二放水路の改善、消流雪施設の利用など治水対策の検討協議を進めていく。

③県の計画では有明橋から信濃川へ放水計画案があり、宮ノ下橋までの護岸をかき上げ、そうすると千谷川1丁目から3丁目まで輪中状態となる。これがいままで同意が得られなかった要因であるが、近年の豪雨に鑑み茶郷川治水協議会を通して理解いただけるよう努力していく。



茶郷川(千谷川)

ひかり工房と特別支援学校について

吉崎 進 議員

質問 旧さくら保育園を小千谷北魚沼福祉会に無償譲渡するが、水回り改修の市の補助は。
答弁 障がい者日中活動事業所開設費補助金があり、4分の3上限で300万円がある。

質問 一時預かりについては。
答弁 旧さくら保育園で月曜日から土曜日まで通年で早朝、放課後の日中一時支援を計画していると聞いている。



質問 特別支援学校を所管する部署は。
答弁 学校教育課が所管する。ただし、福祉・健康部門と教育部門の連携がより求められることから、社会福祉課、保健福祉課、学校教育課で庁内横断的なプロジェクトチームを作った。

質問 国、県からの補助等ほど

うなるか。

教育長答弁 市立の場合は改築費が補助制度に該当する。教職員人件費以外は市の負担となるが、学校規模に応じた普通交付税措置がある。

質問 視覚障がい者、聴覚障がい者の受け入れは。

教育長答弁 それぞれの障がい者に合った専門的な教育を受けることのできる県立盲学校、県立聾学校への入学を奨励する。

質問 特別支援学校開校後の小中学校の特別支援学級についてどうなるのか。

教育長答弁 それぞれ独自の教育制度として位置付けられているので、支援学級はなくなる。また、特別支援学校は地域におけるセンター的機能を有している。

質問 就学指導委員会の役割と対策については。

教育長答弁 教育委員会では、スケジュールを見直し、早い時期から対応している。

病院統合と南部・山辺の活性化について

長谷川 有理 議員

質問 新たに招集される病院統

合検討委員会のメンバーは。

答弁 必要に応じ運営委員会で指名するので今後検討する。

質問 市民への説明や意見を聞く会等の開催を急ぐべき。

答弁 統合協議会に提案する。

質問 統合の具体的工程は。

答弁 厚生連が中心となって検討していくことと考える。

質問 小千谷病院の法人解散に伴い市の清算支援はあるのか。

答弁 解散手続きの検討結果により市として判断していく。

質問 病院統合への当市の有形支援の具体的中身は。

答弁 金銭的支援や物的支援も含めてこれから検討する。

質問 地域医療再生計画を始め、県との連携戦略は。

答弁 これから働きかける。

質問 当市の統合協議会運営委員会長で新大病院長内山聖氏と人材確保等の連携確約は。

答弁 最大限努力する。

再質問 内山氏は来年3月に新大病院長を定年退職し魚沼基幹病院長に就任するが当市の統合協議会長職は継続するのか。

答弁 今のところ話はしていない。

質問 環境うるおい基金を使用した南部・山辺の活性化を。

再質問 環境うるおい基金を使用した南部・山辺の活性化を。

答弁 全市域が対象と考える。

再質問 不正取水で真人・岩沢・川井・坪野・細島・山辺が減水被害を受けた。真人・池ヶ原は住宅地に隧道トンネルが通り陥没や地下水の減少等の被害もある。歴史を踏まえた環境うるおい基金の有効活用を。

答弁 適切に対応している。

質問 地域活性化グループへの支援等を含めた南部3小学校の後利用支援を。

答弁 地元の意向を尊重しながら検討していきたい。

再質問 地域活性化グループへの支援等を含めた南部3小学校の後利用支援を。

答弁 地元の意向を尊重しながら検討していきたい。

再質問 地域活性化グループへの支援等を含めた南部3小学校の後利用支援を。

答弁 地元の意向を尊重しながら検討していきたい。

再質問 地域活性化グループへの支援等を含めた南部3小学校の後利用支援を。

答弁 地元の意向を尊重しながら検討していきたい。

再質問 地域活性化グループへの支援等を含めた南部3小学校の後利用支援を。

答弁 地元の意向を尊重しながら検討していきたい。



信濃川(川井真直・塩殿細島)

原子力災害対策、子ども医療費助成など

風間 健一 議員

1 原子力災害対策編について

質問 国の法改正にともない、小千谷市も「原子力災害対策編」を策定することになります。

答弁 国の見解が示されてお

小千谷市は、避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等を準備する区域です。

小千谷市の人口3万8千人が速やかに避難するには、50人乗りバスで、760台必要です。

速やかな避難は可能か。

答弁 地域防災計画原子力災害対策編を策定し、整然と避難できるようにしたい。

2 子ども医療費助成について

質問 県内30市町村中16市町村が中学卒業まで助成しています。入院も通院も中学卒業まで、子ども医療費の助成を拡充して頂きたい。また一部負担金の無料化をしていただきたい。

答弁 今のところ考えていないが、県に人数制限を取り払うよう要請する。

3 災害救助法の運用について

質問 政府側は「資力の有無にかかわらず、また同一自治体に親族の有無にかかわらず、真に救助の必要がある方に対しては災害救助法による住宅の除雪を行うことができる」旨の答弁をしています。

災害救助法による住宅の除雪は、政府答弁のように行って頂きたい。

答弁 県の見解が示されてお

ず現段階では答えられません。

4 茶郷川洪水対策について

質問 茶郷川基幹河川改修事業計画を進めるため地権者や関係住民に同意を得るべく積極的に働きかけていただきたい。

答弁 「茶郷川治水協議会」を組織し、一日も早く事業化が実現するよう努めます。



茶郷川(城内・千谷川)

ごみ最終処分場・船岡公園活性化あきは荘・市呼び名

本田 剛 議員

質問 ごみ最終埋立地について

①現在、当市は他県へ処分を依頼しているが、今後依頼先が満杯になり引取り拒否になった場合どう対応するか。

②第2処分場を計画した場合稼働するまでは、かなりの歳月が

かかると思う。自主自立でいく
当市にとって今から計画をたて
る考えはあるのか。

答弁 ①依頼している他県では
今のところ長期にわたり受け入
れ可能と聞いている。

②第2処分場建設は40億からの
事業費が必要なため、費用面か
ら考えて現実的ではないと考
える。



クリーンスポット大原最終処分場

質問 船岡公園活性化について

市街地にある公園を子供から
高齢者の方達が気軽に行き、快
適に利用できるよう管理、整備
等を積極的に実行してほしい。

答弁 現在、週1回の間隔で巡
視し、清掃などは、シルバー人
材センターに、樹木管理は市内
造園業者へ委託している。管理
等不十分な点は迅速に対応しな
がら維持に努めたい。

質問 支援施設あきば荘につい

て

現在入居者が減少しているが、
対策は考えているのか。また、
災害時に被災者の避難所として
空室を活用できないものか。

答弁 入居者減少については、

行政改革実施計画において検討
することとなっている。避難所
としての活用も可能な限り対応
したいと考えている。

質問 小千谷市の読み方が難し
く県外に出るとよく聞かれる。
ひらがなにしてほしいという市民の
声もある。どう思われるか。

答弁 漢字の名称で歴史的な意
味があると認識しており、変更
するには様々な課題があり考
えてはいない。

**小千谷市の定住施策
と教育問題について**

田中 淳 議員

質問 小千谷市の定住施策

①本市人口の自然減と社会減数
は

- ②定住人口と昼間人口の差は
- ③I・J・Uターン政策の検証
- ④新規の定住施策について
- ⑤病院統合を定住者促進の糧と
すべく展開策について

答弁 ①平成23年度には自然減

は243人、社会減は273人
となっている。

②定住人口と昼間人口の差は平
成12年では949人、平成17年
では1146人、平成22年では
316人昼間人口が多くなっ
ている。

③現在、定住政策の効果はある
と考えているが、制度開始から
日が浅いため、今後の推移を注
視したい。

④新規施策よりも現在の施策活
用をすることが当面重要と考
えている。

⑤市民はもとより、周辺地域へ
医療サービスを提供することと
なり、具体的な展開策や計画と
いうより病院統合が定住促進へ
の糧としても期待している。

質問 小千谷市の教育問題

①市内小・中学校のいじめの把
握と実態について。

②警察との連携におけるガイド
ラインの策定は。

③特別支援学校開校に向けた庁
内の運営形態・組織についての
具体策について。

教育長答弁 ①8月末で2件の
報告。

②日頃から、学校警察連絡協議
会等を通じた連携が図られてい
るため、新たなガイドラインの

策定は考えていない。

③学校教育課を事務局とし、社
会福祉課、保健福祉課でチー
ムを組織。専門家や保護者、障
がい者団体等から意見・要望を募
りながら開校準備を進めたい。



**国土調査・白山市
農園・住居表示整備
事業について**

風間 順一 議員

質問 耕作放棄地の解消と国土
調査について

答弁 現在、山本山西側地区を
調査しています。この後は、隣
接する西小千谷地区の市街地を
北上する計画です。白山地区の
国土調査実施の件ですが、白山
地区に限らず一般的に事業によ
り筆界等を明確にする必要があ
る場合には、その当事者が筆界
の保存を含め対応すべきと思
います。

事業によっては、規模や性質
などから対象とすべきケースも

あると考えるが投資効果のある
市街地を優先し、その後検討す
る。

質問 白山エリアの市民農園の
計画についてはどうなったのか。

答弁 国の補助事業である美し
いむらづくり総合整備事業を活
用し、平成16年度より事業着手
したが中越大震災によるその後
の財政事情と社会情勢によりや
むなく事業の見直しをし、「郡殿
の池」及び「谷内池」の整備と
併せて平成20年度を終期とし本
事業を取りやめることとした。
取りやめとなった事業の内、白
山市民農園については、その後
の情勢を総合的に見極めながら
精査することとしていたが既存
の塩殿地区日帰型農園の利用状
況が60パーセント程度であるこ
とから現在のところ再整備の状
況には至っておらない現状と考
えている。



白山運動公園周辺

質問 東小千谷地区の住居表示整備事業について伺う。

答弁 東小千谷地区においては、人口集中地区を中心に東栄と旭町で実施した。今後の予定としては、都市計画の見直しや表沢川改修事業及び都市計画道路の整備状況等を勘案し、検討していきたいと考えている。

議会日誌

7月～9月

〈7月〉

3日 水明会・緑風クラブ行政視察に出発（栃木県足利市・茨城県水戸市）

9日 議会報編集委員会

10日 愛知県新城市議会行政視察に来市

12日 愛知県豊川市議会行政視察に来市

13日 議会報編集委員会

23日 北海道名寄市議会行政視察に来市

24日 総務文教委員会行政視察に出発（北海道富良野市・札幌市・千歳市）

25日 宮城県気仙沼市議会行政視察に来市

31日 議員協議会

2日 愛知県蒲郡市議会行政視

察に来市

22日 中越地区市議会合同研修会（長岡市）

23日 宮城県女川町議会行政視察に来市

24日 議会運営委員会

28日 県市議会議長会理事会・秋季定期総会（佐渡市）

30日 新潟市議会行政視察に来市

31日 第3回定例会（本会議）

議会報編集委員会

3日 常任委員会連合審査会

4日 常任委員会連合審査会

5日 総務文教委員会

6日 民生産業委員会

19日 議会運営委員会

20日 本会議（第2日）

24日 本会議（第3日）

議会報編集委員会

24日 議会運営委員会

本会議（第4日）

議員協議会

議員全員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会

議員協議会



48



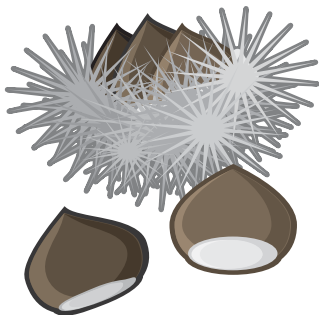
小川 洋平さん
(桜町(下))

日本人はお金や経済のことを考えるのが苦手だとよく言われています。学校教育ではお金の使い方、ローンや税金、保険のことなど生きていく上で必ず直面するお金のことを学ぶ機会も少なく、経済の仕組みなどについてもあまり深く触れずによく分からないまま社会に出た方も多いことでしょう。学生時代にあまり勉強せずに社会人になった私もその一人で、働き始めてからようやくその大切さに気がつき勉強を始めたものでした。保険代理業という職業柄、保険や税金など身近なお金のことについて考えるのは当然のこと、どうしたらデフレから脱却して経済成長ができるのか、そのた

めに誰を支持すべきかということを一人の有権者として考えています。

誰もが直面する身近なお金について考えることは、有意義にお金を使うためにとっても大切なことですし、政治経済も我々の生活や仕事に大きく影響する身近なものであり、考えることは大切なことです。

汗水流して稼いだお金を大切に使うため、これからも日本に安心して暮らしていくためにも、是非多くの方にお金や経済のことに興味を持って、一人一人が考えていただきたいと思っています。



編集後記

今年の夏は9月になっても非常に暑く、雨のほとんど降らない日が続きました。積乱雲が小千谷市に近づき、空が暗くなつて、いよいよかと期待しても雨は降りませんでした。しかし、暑さ寒さも彼岸までのことわざどおり、秋の彼岸過ぎから暑さもようやく収まってきました。例年とは少し時期が遅れましたが、いよいよ秋本番です。スポーツの秋、読書の秋、そして天高く馬肥ゆる秋です。市民の皆さんはどのような計画を立てておられますか。精一杯、秋を楽しんでいただきたいと思っています。

長期予報によりますと、この冬は暖冬小雪とのことですが、でも、夏が暑い時は、大雪になるとも言われております。この2年は、続けての豪雪でした。雪国に暮らす私たちにとつて、雪は必要でもありますが、ほどほどにしてほしいと思っております。

